

コンテナを使った情報基盤設計入門【オンラインライブ】（4124175）

企業のデジタルトランスフォーメーションが求められるなか、そのスピードに対応できるIT基盤が求められるようになりました。コンテナはその一つの解決策であり、多くの企業が情報基 盤としてコンテナの導入・検討を進めています。コンテナの基本知識を解説するとともに、コ ンテナの効果を企業にもたらすためのプラクティスを解説します。

開催日時	2024年9月12日(木) 9:00-16:00ライブ配信	
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(IT基盤)	
カテゴリー	IT基盤構築・維持・管理 専門スキル	
講師	鈴木洋一朗 氏 (株式会社PKSHA Technology AI Solution事業本部 エンジニア) 日本アイ・ビー・エム株式会社にて、マルチテナント型クラウドサービスの運用を経て、様々な業界におけるクラウド・コンテナ案件の設計・構築・運用・技術支援を経験。 現在は株式会社PKSHA Technologyにて、コンテナを活用したソフトウェア開発に従事。 Kubernetes/OpenShiftの資格を取得 共著「OpenShift徹底活用ガイド」シーアンドアール研究所出版	
参加費	J U A S 会員/ITC : 35,200円 一般 : 45,100円 (1 名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】	
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)	
対象	初級	
開催形式	講義	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)	
ITCA認定時間	6	

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) **【セミナーのオンライン受講について】**

■テキスト

開催 7 日前を目途に発送 (お申込時に送付先の入力をお願いします)

※開催 7 日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項

特になし

企業のデジタルトランスフォーメーションが求められるなか、そのスピードに対応できるIT基盤が求められるようになりました。コンテナはその一つの解決策であり、多くの企業が情報基 盤としてコンテナの導入・検討を進めています。本セミナーでは、コンテナの基本知識を解説するとともに、コ ンテナの効果を企業にもたらすためのプラクティスを解説します。

◆主な研修内容：

第 1 部コンテナの概要

・DX時代に求められる情報基盤

・コンテナとは

・コンテナの仕組み

・コンテナに期待する効果

・コンテナ事例の紹介

第 2 部 Dockerを活用したコンテナアプリの開発

・Dockerとは

・Dockerのコンポーネント

・コンテナアプリ実行の流れ

- ・ コンテナアプリのライフサイクル

第 3 部 コンテナアプリ設計の考慮点

- ・ コンテナアプリ設計の原則
- ・ データ管理設計
- ・ セキュリティ設計
- ・ ログ設計 ・ チーム設計
- ・ 開発 ・ リリースフロー設計

第 4 部 コンテナを企業の情報基盤として扱うために

- ・ コンテナの管理
- ・ Kubernetesとは
- ・ Kubernetesを導入するメリット
- ・ クラウドネイティブ時代の運用体制・文化